

甲状腺検査のお知らせ文改訂案に対するその他の委員御意見

1 資料全体

- 可能であれば「メリット・デメリット」(カタカナ語)よりも、「長所・短所」(和語)が望ましい。
- 表現等のわかりやすさについてさらに工夫が可能ではないか。
- 全体的に説明が回りくどい印象がある。できるだけ文章をシンプルに。

2 甲状腺検査のお知らせ(表文)について

- お知らせ文のメリット・デメリットの記載は削除し、「詳細については別紙「甲状腺検査について」をご覧ください」を強調し、別紙内容を充実させる。
- 「国際的な専門家グループは、原発事故後であっても、被ばく線量が低いと推定された場合は(福島島の状況が該当します)、全ての住民を対象とした集団スクリーニングを行わないことを推奨しています」と追記する。
- 小児甲状腺がんは進行が早い可能性があり、成人とは様相が違い、「一般的にデメリットが上回る」ということは断言できないと思う。「ただし小児の場合は未知の部分が多く定説はない」と追記する。

3 (別紙) 甲状腺検査について

- メリット(3)は本人の直接的なメリットではないので削除するか序文へ移動。
- (メリットに対して)検査の受診を勧奨するような科学的エビデンスに基づかない記載が盛り込まれている。単なる見込みや期待に基づく不正確な記載は削除すべき。
- 先行検査と検査2回目のデータについてももう少し詳細に記載する(避難区域、中通り、浜通り、会津の地方別の悪性ないし悪性疑いの人数)。
- 検査2回目で悪性ないし悪性疑いと診断された方の先行検査での判定結果を記載する。
- スクリーニング効果についてきちんと説明することが必要である。

4 その他

- この文書に基づいて、検査対象者への実際の説明や質疑応答を行うことが大切。
- 検査対象者が自由に質問や意見を言えるような説明への配慮も重要である。